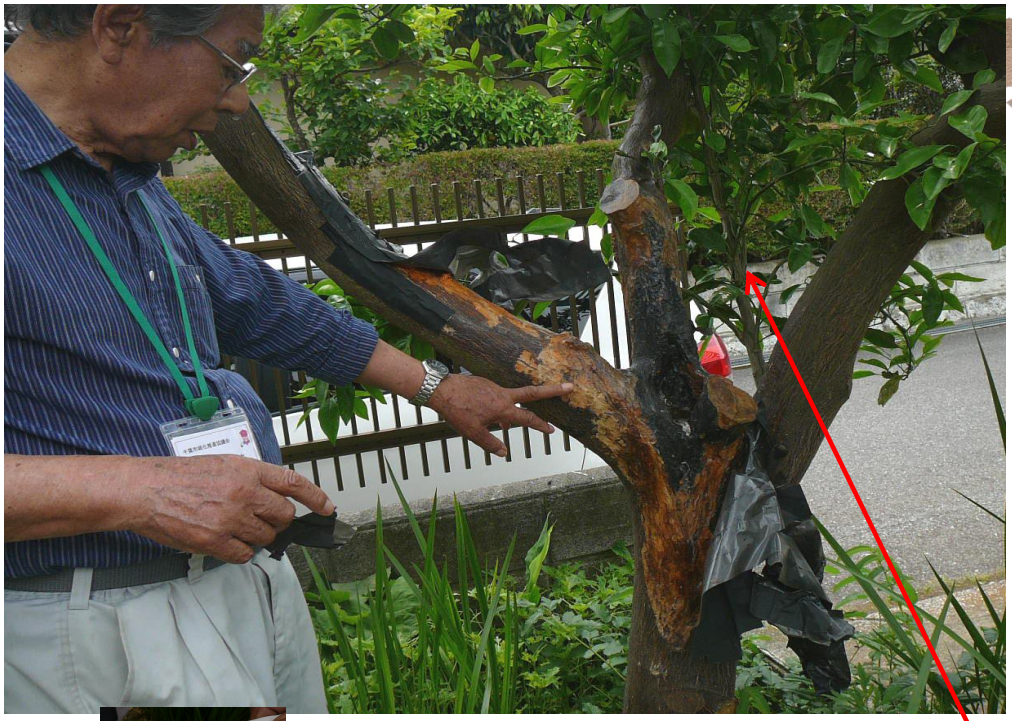
令和元年6月2日（日）樹木診断会　報告

場所：こてはし台自治会
住所：花見川区こてはし台6丁目　　2戸の住戸の樹木診断を実施した。
「こてはし台みどりの協定」（協定番号3番）

希望するアドバイス内容（1戸目）：
特に、みかんの木が弱り、木の皮が剥がれており、養生しているが、対応する方法などを
アドバイスをいただきたい。

今年みかんの花の付きが少ないのは、隔年結果のことも考えられる。
樹皮剥離の原因は、「カミキリムシ」の産卵で幼虫が内樹皮を食害し外樹皮を含め剥離したとの見解。
カバーは剥がし「緑化テープ」を巻くようにアドバイスがあった。



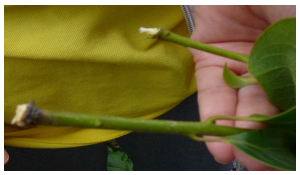
↑
緑化テープ

トップジンMペースト

病原菌の侵入を防ぎ、
枯れ込みを防止し、
切り口の回復を早める。

この立ち枝は不要で
切除した。
切除面は、保護剤を塗った。

柿の「立ち枝」は、手で取ると根本まで取れ、そこから新芽が出てくることはないので、おすすめの方法。



↑
根本まで取れた「立ち枝」

問合先_Email:c.ryokkasuisin@gmail.com

梅　種類は、「シラカガ」か。 近くに雄花があるはずで、　梅「白加賀(シラカガ)」
梅は自家結実性が弱い品種が多いので、花粉の多い品種を近くで植えるのがよい。

希望するアドバイス内容（2戸目）：
庭木の状態と剪定などについて、アドバイスをいただきたい。

全体的に、混みあっているので「透かし剪定」をするようアドバイスがあった。
「ヤツデ」や「アオキ」などは、手で「葉むしり」するとよい。

↑
葉むしり後

← 根本から切除していないので、枯れている。

ハクロニシキ
↓

問合先_Email:c.ryokkasuisin@gmail.com